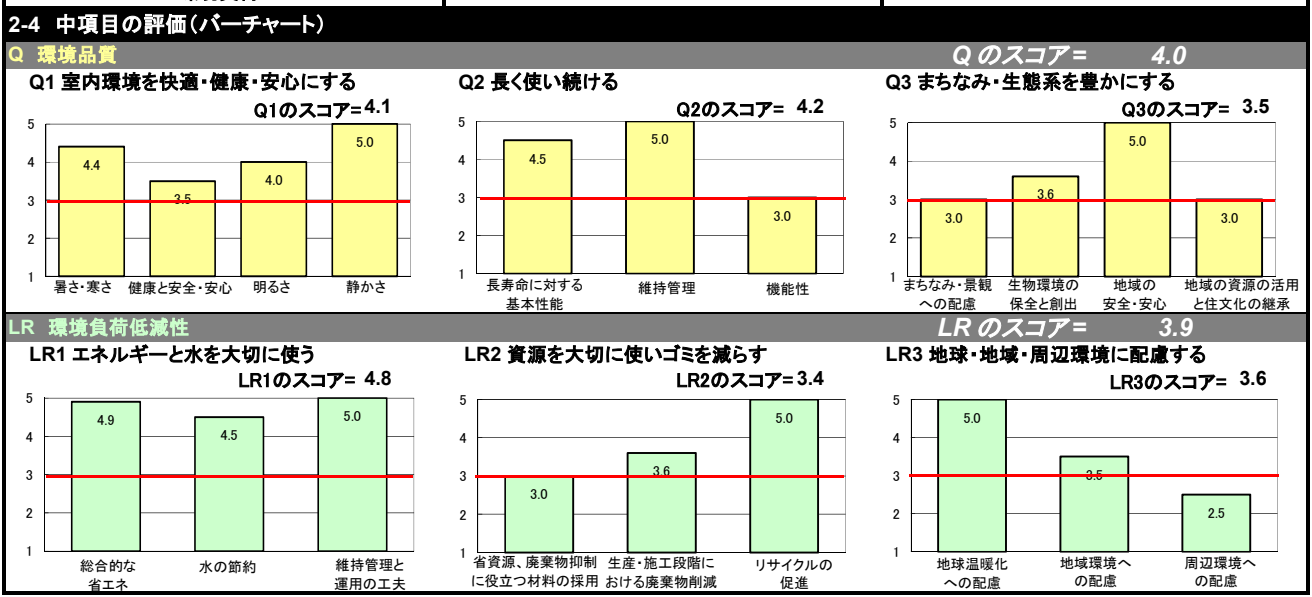
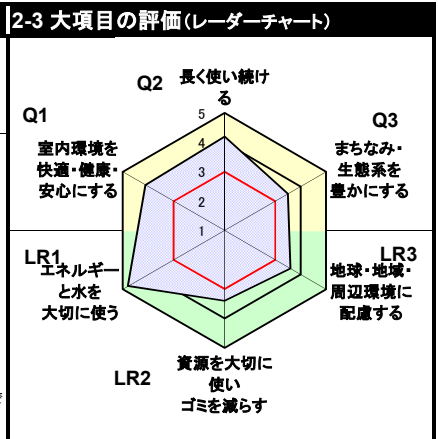
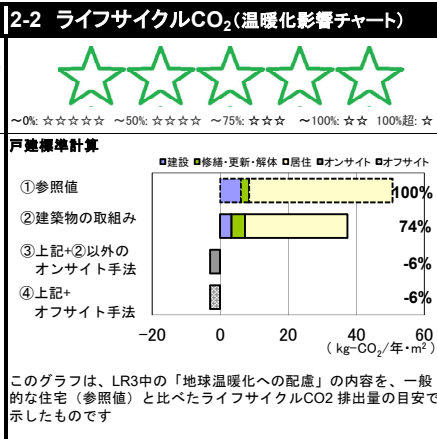
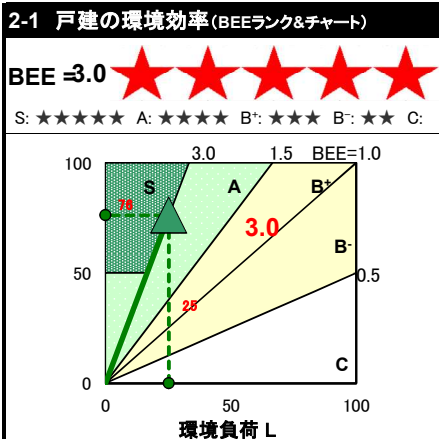


1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称			仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月		予定		持ち込み家電等	仮
建設地	宮崎県宮崎市			外構の仕様	仮
用途地域	第1種住居地域	確定	〈備考〉		
省エネルギー地域区分	7 地域				
構造・構法	木造・軸組工法	確定	評価の実施日	2019年9月8日	
階数	2		作成者	下原	
敷地面積	284 m ²	確定	確認日	2019年9月8日	
建築面積	86 m ²	確定	確認者	下原	
延床面積	115 m ²				
世帯人数	4	確定			

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物の断熱性能の向上に加え、換気、給湯、照明仕様の負荷の軽減によりBEE☆☆☆☆とする。	
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 性能の高い開口部材を採用し、外皮平均熱貫流率:0.56(Ⅲ地域)を越える性能値とする。その事により換気の負荷軽減を行う。Mahatシステムの採用により室内温度差をなくす。</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う 節水について水優先吐水、小流量吐水機能の採用。電気ヒートポンプ給湯器、食洗器を用いる。</p>	<p>Q2 長く使い続ける 耐震等級:3・耐風等級:2とし、外壁通気工法により躯体長寿命化を謀る。 給水・給湯ヘッダー方式の採用による維持管理のしやすい体制とする。</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 構造部材のプレカット材の使用。 施工現場での分別収集の実施。</p>
	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 近隣の敷地に対し十分な後退距離をとることにより見通しの確保を考慮した。接道部分をオープン駐車場とした。</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 従前の地形を改変せず、敷地内の緑化を心がけ自然環境の保全に務めた。 分別ストックスペースを設けた。</p>